

科 目 名	SS 英語 II	理数科必修 2 年次・6 単位
目 標	・教科書を通じて学ぶ単語・熟語を理解し、活用できる。(語彙力) ・初めて出会う英文に関して、文構造、文章上の構造を意識した上で、理解できる。(読解力) ・英語での構造を正しく活用し、自分の考え・意見を論理的に表現できる(英語での表現力) ・多様な英文を決められた時間内で、その概要を把握ができる(速読力) ・講義文や対話文などの音声聞き、大まかな内容を理解することができる(リスニング力)	
位 置 づ け	次年度の「SS 英語Ⅲ」につなげるとともに、科学分野において有用な英語の語法や知識を学ぶとともに、グローバルな視点でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。	

■使用する教材 ・教科書：LANDMARK English Communication II be English Logic and Expression II clear ・副教材：英文法・語法 Vintage 4th Edition Focus on Listening 〈Standard / Pre-Advanced〉 be English Logic and Expression II clear Grammar Book 総合英語 be 4th Edition 必携英単語 LEAP ・自作プリント ほか	■学習する単元とおおよその時期 ・ LANDMARK Lesson1,2 be clear Lesson 1~4 【4～5月】 ・ LANDMARK Lesson3,4 be clear Lesson 5~7 【6～9月】 ・ LANDMARK Lesson5,6,7 be clear Lesson 8~11 【10～12月】 ・ LANDMARK Lesson8,9,10 be clear Lesson 12~15 【1～3月】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 ・予習：(A)ハンドアウトを活用し、新出単語・熟語の定義、用例や、本文の概要を把握する。 (B)ワークブックの問題に取り組む。 ・授業：(A)ハンドアウトを活用した理解、定着、本文関連する意見を交流。 (B)Writing, Listening は、テキストの内容に関する理解、定着、活用。 ・復習：学習した項目の定着、活用	

■観点別評価について			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 学習した知識や技能に関して、ほぼ正確に用いられる。	学習した事項の概念を理解し、状況に応じて活用し、論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みをして行える。
	B 学習した知識や技能に関して、ある程度正確に用いられる。	学習した事項の概念を状況に応じて活用し、ある程度論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みで行う姿勢はある。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、小テスト	定期考査、パフォーマンス課題(エッセイライティングなど)	授業中の参加態度

